

地域計画

策定年月日	令和6年3月25日
更新年月日	令和8年3月27日 (第1回)
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	我孫子市 12222
地域名 (地域内農業集落名)	北新田地区

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	299.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	299.7 ha
② 田の面積	227.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	65.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	39.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	24.6 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)遊休農地面積6.5ha(うち田0.2ha、畑6.3ha)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、遊水地の機能を有した広大な農地であり、所有者及び耕作者の合計は400人にのぼる。田と畑が混在しており、田では大規模経営体による集積が進んでいるものの、畑では遊休農地の増加が懸念されている。持続的に農地の利用促進を図るためには、分散する担い手の農地を集約するとともに、新規就農者を確保・育成していく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

主要耕作者を中心に農地の集積・集約に取り組む。また、スマート農業を活用し、農作業の効率化を図るとともに、地域内外から農地を利用する者を確保していく。

田が全体の76%を占めることから、当地区の主要作物を水稻と位置づけ、スマート農業の活用により個々の耕作面積の拡大を図っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、主要耕作者への農地の集積・集約化を基本とする。併せて、地域内の農業を担う者による農地利用も進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	40.4 %	将来の目標とする集積率	48.5 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手の経営意向を考慮しつつ、段階的に集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、主要耕作者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用して、担い手の経営意向を考慮しつつ、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
主要耕作者を中心に団地面積の拡大を進め、農用地の大区画化を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
農業事務所やJAと連携し、地域内外から多様な経営体を受け入れ、相談から定着まで切れ目のない支援に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
ちば東葛農協サービスの農業支援サービス(草刈り、耕うん等)を活用し、農地の荒廃を防ぐ。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①有害鳥獣の被害が生じた場合、我孫子市植物防疫協会と協議し、箱わなの設置を検討する。
- ③作業効率向上や省力化を図っていくために、スマート農業への取組を検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 17 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	A	水稲	17.2 ha	ha	水稲	17.7 ha	ha	A	
2	認農	B	水稲	11.5 ha	ha	水稲	17.9 ha	ha	B	
3	認農	C	水稲	14.2 ha	ha	水稲	14.2 ha	ha	C	
4	認農	D	水稲	6.2 ha	ha	水稲	5.9 ha	ha	D	G
5	認農	E	水稲	11.8 ha	ha	水稲	13.4 ha	ha	E	
6	認農	F	水稲	11.1 ha	ha	水稲	11.4 ha	ha	F	
7	認農	G	水稲	7.7 ha	ha	水稲	16.9 ha	ha	G	D
8	認農	H	水稲	7.9 ha	ha	水稲	8.1 ha	ha	H	
9	認農	I	水稲	1.9 ha	ha	水稲	2.5 ha	ha	I	
10	利用者	J	水稲	4.2 ha	ha	水稲	4.2 ha	ha	J	
11	認農	K	水稲	3.9 ha	ha	水稲	3.9 ha	ha	K	
12	認農	L	水稲	3.2 ha	ha	水稲	3.2 ha	ha	L	
13	利用者	M	水稲	2.5 ha	ha	水稲	2.5 ha	ha	M	
14	利用者	N	水稲	2.5 ha	ha	水稲	2.8 ha	ha	N	
15	認農	O	水稲	1.5 ha	ha	水稲	1.5 ha	ha	O	
16	利用者	P	水稲	2.0 ha	ha	水稲	2.0 ha	ha	P	
17	到達	Q	露地野菜	3.1 ha	ha	露地野菜	3.8 ha	ha	Q	
18	到達	R	水稲	1.8 ha	ha	水稲	1.8 ha	ha	R	
19	認農	S	水稲	1.6 ha	ha	水稲	2.3 ha	ha	S	
20	認農	T	水稲	4.7 ha	ha	水稲	3.4 ha	ha	T	
21	認農	U	露地野菜	2.4 ha	ha	露地野菜	4.3 ha	ha	U	
22	認農	V	露地野菜	1.4 ha	ha	露地野菜	1.4 ha	ha	V	
23	到達	W	露地野菜	0.8 ha	ha	露地野菜	1.1 ha	ha	W	
24	到達	X	露地野菜	1.5 ha	ha	露地野菜	1.7 ha	ha	X	
25	到達	Y	露地野菜	0.6 ha	ha	露地野菜	0.6 ha	ha	Y	
26	認農	Z	水稲	2.8 ha	ha	水稲	4.3 ha	ha	Z	
27	認農	AA	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	AA	
28	認農	AB	水稲	0.6 ha	ha	水稲	1.0 ha	ha	AB	
29	到達	AC	露地野菜	0.5 ha	ha	露地野菜	0.6 ha	ha	AC	
30	認農	AD	水稲	0.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	AD	
31	認農	AE	露地野菜	0.1 ha	ha	露地野菜	0.4 ha	ha	AE	